

受験番号

1	①	イ	②	シ	③	セ	④	エ
	⑤	ケ	⑥	ス	⑦	ソ	⑧	チ
	⑨	オ	⑩	コ				
2点×10								
2点×5	(1)	順序 ウ → エ → ア → イ					① そんなきょ (蹲踞)	
	(2)	70	%	(3)	種目	例 (種目) バスケットボール (技能) フリースロー (完答) (種目) テニス (技能) サーブ など		
	(4)	バトンパスのときの両走者間の距離						
4点×5 (異なっている内容2点, それが正答の上, 修正案2点)	3	(異なっている内容) 【例】 体育理論は第1学年及び第2学年の2学年間にわたって履修しなければならないが, 1年生の体育理論がない。						
		(その修正案) 【例】 2年生同様, 4月からの陸上競技のうちの2時間と, 1月の体づくり運動のうちの1時間を, それぞれ体育理論に変え, 計3時間行う。						
		(異なっている内容) 【例】 2年生の体づくり運動では「実生活に生かす運動の計画」を行うことになっているが, これは3年生の内容である。						
		(その修正案) 【例】 1・2年生の体づくり運動では「体の動きを高める運動」を履修しなければならないため, 2年生の「実生活に生かす運動の計画」を「体の動きを高める運動」に変更する。						
		(異なっている内容) 【例】 陸上競技では, 1・2年生で(走り幅跳び)か(走り高跳び)を履修しなければならないが, どちらの学年でも(走り幅跳び)も(走り高跳び)も行っていない。						
		(その修正案) 【例】 2年生4月からの陸上競技で(短距離走)を(走り幅跳び)に変更し, 2年間で走及び跳のそれぞれの運動からの履修となるようにする。						
		(異なっている内容) 【例】 球技では, 1・2年生で「ゴール型」「ネット型」「ベースボール型」のすべてを履修しなければならないが, 2年生の5月の球技で「ネット型」を選択した生徒は, 2年間で「ベースボール型」を履修しないことになる。						
		(その修正案) 【例】 2年生5月の球技を全員「ベースボール型」の(ソフトボール)に変更し, 全員が3つの型を履修するようにする。						
		(異なっている内容) 【例】 学習指導要領解説では, 男女共習が原則とされているが, 2年生の武道とダンスが男女別習で計画されている。						
		(その修正案) 【例】 1年生同様, 10～11月に武道, 11～12月にダンスにし, 共習で計画する。						

その1小計	合計

受験番号

2点×11	①	見方				②	考え方			
	③	保持増進				④	継続			
	⑤	社会				⑥	安全			
	⑦	他者				⑧	体力の向上			
	⑨	7				⑩	10			
	⑪	6								
(1) ~ (6) 2点×12	(1)	インフォームド・コンセント				(2)	動静脈吻合 (AVA)			
	(3)	①	自転車			②	努力義務			
	(4)	①	×	②	○	③	×	④	×	
	(5)	ロコモティブシンドローム (運動器症候群)								
	(6)	①	85		②	90		③	2	
(7) 4点×1	(7)	筋肉の緊張と弛緩を繰り返すことにより身体のリラックスを導く方法								

その2小計